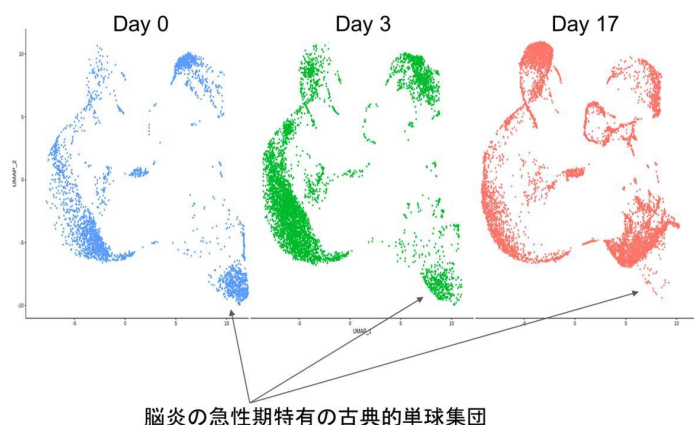


講座名（専門科目名）	ヒト免疫学（単一細胞ゲノミクス）	特任准教授 氏名	奥崎 大介
学生への指導方針	近年の生命科学・医学研究では、先人たちの成果を参考にし、それを検証する機会が増えています。特に遺伝子解析においては、プログラミング言語の習得や大規模データの取り扱い能力が、研究を大きく前進させる鍵となります。当研究室の魅力の一つは、少人数制ならではのきめ細やかな指導と、充実した研究環境を提供できることです。学生は実践的な研究テーマに取り組む中で、多角的な視野を養い、専門的な見識を深めながら成長することができます。		
学生に対する要望	主体的に必要な情報やスキルを習得し、多様な価値観を持つ仲間と共に学び、研究を楽しむ方を歓迎します。		
問合せ先	(Tel) 06-6879-4935 (Email) dokuzaki@ifrec.osaka-u.ac.jp	担当者	奥崎 大介
その他出願にあたっての注意事項等	肩書きは特任准教授(常勤)です、出願前の研究室見学や相談は対面・Zoom いずれでも歓迎します		

当研究室は2019年11月に設立され、シングルセル解析とヒト免疫学の発展をミッションとしています。現在、特任助教1名、特任研究員1名、技術職員2名が所属する少人数ながらも専門性の高い研究チームです。シングルセル解析の推進には、高度な情報解析スキルが不可欠です。そのため、当研究室には国内屈指のベンチャー企業での経験を持つ専門家も加わり、実践的な知識とスキルを活かして研究を進めています。情報解析に特化した研究環境を整備し、データの有効活用や解釈、新たな知見の発見につながる視点の育成にも注力しています。

また、新型コロナウイルス感染症の流行時には、阪大内の「オール阪大 COVID-19 チーム研究グループ」の一員として活動しました。入院した重症患者のシングルセル解析を担当し、重症化の病態解明を目指しました。さらに、COVID-19 ワクチン接種後に脳炎を発症した患者の解析により、免疫シグネチャーの特定にも成功しました。

具体的には、COVID-19 ワクチン接種後の脳炎の急性期に特異的に出現する古典的単球集団を同定しました。この細胞集団は、健常者や病気の寛解期には検出されず、ワクチン接種後に発症した脳炎におけるユニークな骨髄系サブセットを示しています。この成果は、COVID-19 ワクチン接種に関連する自己免疫異常の解明に貢献するとともに、将来的な疾患の早期発見や予防策の開発につながる可能性があります。



🔗 研究成果: [大阪大学リソウ](#)

🌐 研究室ホームページ: [IFReC 大阪大学](#)

📄 研究者情報: [Researchmap](#)